



南郷小学校

ふれあい しんらい

そして厳しさ!!

校長 黒岩惣一

◆はじめに

平成25年度の南郷小学校は10人の新入生を迎えて、児童数42人(男子20人、女子22人)、教職員数13人でスタートを切りました。

学校教育目標である「自ら学び、すすんで行動する子どもを育てる」をなかくよくかしくく、たくましくくを目指して、児童・保護者・地域・学校が一体となり、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指して頑張っています。

また、本校は平成24年度に「平成24年度文部科学省高知県教育委員会委託事業高知県実践的防災教育推進事業」の研究発表を行い、平成25年度からは黒潮町の「防災教育推進校」に指定され、「防災教育の風土づくり」に、地域ボランティアなどの協力を得て、

地道にそして着実に児童の心へ根付かせていくための取り組みを実施しています。

◆知育(学力)を推進するための取り組み

◎子どもに分かる授業づくりの推進

- ①「授業で大事にする5つのポイント」の徹底
- 本時の学習目標を全員に分かるように黒板に提示する
- 児童一人ひとりの思考を基に学習を深め、課題を追求させる
- 本時の学習目標が達成できているか、全員の状況把握する
- 本時の学習目標に対するまとめをする
- 次時の学習内容を提示する
- ②「特別支援教育の視点」の徹底
- 授業に見通しが持てるようにする
- 目で見て分かる手がかりを用意する
- 板書やノートを構造化する
- 個に応じた手立てを行う
- 肯定的な表現で具体的に評価する
- 次時の学習の準備をしてから休み時間にする
- ③「生徒指導の3機能」の徹底

- 児童に「自己決定」の場を与える
- 児童に「自己存在感」を与える
- 「人間的ふれあい」を基盤とする

◆徳育(心など)を推進するための取り組み

- ◎児童の「挨拶」・「自己肯定感」の向上の促進
- ①「道徳の授業力」(質)の向上を図る
- 授業評価表で授業の検証を実施する
- ②「プラス1」を意識した挨拶運動の徹底
- 「声かけ」の前後に一言付け加える
- 人間的ふれあいを大切にす
- ◎読書活動の推進
- ③親子読書などの推進を図る
- 読書通信を発行し(月1回以上)、児童・保護者への

- 啓発を促進する
- 各児童が読書量を視覚的に把握できるようグラフなどを作成・掲示する
- 以上、①～③の取り組みを粘り強く実施することにより自己肯定感(平成24年度「自分には良いところがあるか」3割強)を5割以上に持っていくとともに、挨拶・読書量の向上を図ることにより児童の徳育(心など)の推進を図っています。

◆体育(体力・健康)を推進するための取り組み

- ◎児童の体力向上の推進
- ①年間を通して体力の向上を図る
- 始業前の5分間走+短距離走を実施する
- 「わたしたちの体育」を活用した系統的(学年間)な授業を構築する
- ②基本的な生活習慣の向上を図る
- 健康・体力づくり通信を発行する(月1回)
- 早ね早起き朝ごはん運動を推進する
- 生活習慣実態調査の実施・分析・広報活動を推進する
- 以上、①～②の取り組みを積極的に推進し、体力の向上

を図るとともに、朝食摂取率100%、早ね早起き実施率60%を達成することにより、児童の体育(体力・健康)の推進を図っています。

◆防災教育の新たな推進

本年度から地域の読み聞かせボランティアさん(大西禎子さん、松岡良美さん、山本定生さん、小島ノリコさん、廣瀬純子さん、橋田由美子さん)による防災絵本・物語・歴史など(各学年に応じた)の読み聞かせが「防災教育の風土づくり」の第一歩としてスタートしました。

別表：平成25年度標準学力調査結果

	2年	3年	4年	5年
国語	1.14	0.94	1.20	1.19
算数	1.04	1.17	1.19	1.25
理科			0.96	1.13

※全国平均:1.00

上川口小学校

『学ぼう』

伝えよう 高めよう』

校長 小野川高史

◆はじめに

国道56号沿いにある本校は、自然環境に恵まれ、保護者や地域の方々も大変温かく、学校に対しても協力的で教育熱心な地域です。

本年度は、新入生10人を迎え、児童数39人、単式学級4、複式学級1(5・6年生)の5学級でスタートしました。

本校の児童は素直で明るく、のびのびと遊び、元気に挨拶できる児童が多い反面、意志を伝える技能に弱さがみられます。

そういった実態を踏まえ、今年も、昨年に引き続き、校内研究の主題を、「自分の考えや思いを生き生きと表現できる児童の育成を目指して」とし、表現力を身につけさせる取り組みを日々の授業などで行っています。また、新学習指導要領に打ち出された「言語活動」を充実させるための取り組みを全教育活動で実践していきたいと考えています。一人ひとりの子どもに「元

気」と、「勇氣」と、「やる気」がでるような、意欲溢れる楽しい学校を目指していきたいと思えます。

◆主な取り組み

◆めざましマラソンと草引き
体力向上と、命を守るためのランニング、走った後の草引きを毎朝実施しています。(毎週金曜日には、避難道へのランニングもしています。)

○音楽朝会

美しく響きのある歌声を目指し、毎月2回程度実施しています。

○朗読集会

各学級が教科書中心とした朗読をみんなの前で発表し、目標を持って取り組むとともに、自分の言葉で感想を発表することを加え、充実を図っています。

○合同総合集会

総合的な学習の時間などで学習したことをまとめ、全体の場で発表し合い、表現力や発表力を養っています。(年間8回計画し、うち4回は保護者や地域にも公開。)



◆基礎学力定着の取り組み

○チャレンジタイム

水曜日を除く毎日、5時間目が始まる前の10分間実施。「数と計算」の領域を中心に児童一人ひとりの進度に応じたプリント学習を続けています。学年によっては、漢字プリントにもチャレンジしています。

○日々の授業実践

「上川口小スタンダード」をもとに、授業のめあてを明確にして、授業を展開。全学級が授業研究を実施しています。

①全職員による教材研究・研究授業・反省会を行っています。模擬授業を教材研究時に行う場合と、講師を迎

えての教材研究・研究授業・反省会を行う2つのパターンで研究しています。
②学習や生活の基本となる「上川口っ子の学び」を家庭にも配布し、学校では学びの基本として定着を図るために点検を行いながら活用をしています。

◆標準学力調査の結果より

左記の表は、今年4月に実施した標準学力調査の結果です。

平成25年度標準学力調査結果

	2年	3年	4年	5年
国語	1.06	1.04	0.81	1.04
算数	1.09	1.07	0.85	1.10

※全国値の正答率を1とした本校の平均正答率

校内研修において、全学年の分析結果をもとに個人的に理解できていない単元・領域を各学級・個人ごとに分析し、教師間での共通理解を図るとともに、単元テストや本校作成の小テストを利用して確かな学力を定着させるための取り組みを行っています。

◆特色のある教育の推進に関する活動

- ①全児童・教職員による通路・河川プール清掃など社会奉仕に関わる体験活動。
- ②上川口・蜷川の老人クラブの方々との愛校作業。
- ③地域や保護者の方々との協力によりどろんこ体験や米作り体験活動。巨大カボチャ作り、芋のつるさし・芋の販売など勤労生産活動。



④大方くじら保育所や老人ホーム(シーサイドホーム)・障害者授産施設(誠心園)を訪問しての交流活動。

⑤小学校を取り巻く山や川、海を活用しての自然体験活動。

常に、地域・家庭・保護者の方々に気軽に足を運んでもらえる学校でありたいと考えています。

佐賀小学校

合言葉は

「お・が・た・ま」

「お・と・し・だ・ま」

校長 中平泰史

◆はじめに

本校は、学級数10(通常の学級6・特別支援学級4)、児童数120人で本年度スタートしました。以前より人権教育の推進を基盤として実践してきましたが、本年度は「高知県実践的防災教育推進事業研究指定校」として、人権教育とともに、防災教育にも力を入れていくと決めています。

◆学校教育目標

学校教育目標を「たくましく心豊かな児童の育成」知・徳・体の調和のとれた児童の育成」とし子どもたちに生きる力を育めるよう、取り組みを進めています。また、どの教育活動においても「知」・基礎学力を定着させること、「徳」・一人ひとりを大切にすること、「体」・たくましい心と体を



育てること、を常に念頭に置き、教育実践を進めています。

◆めざす児童像

本校には以前から「おがたま」として表されており、子どもたちにも愛着があります。

お おもいやる子
が がんばる子
た たくましい子
ま まなぶ子

◆教育活動①「学力向上」

平成25年度標準学力調査結果

国語	本校	目標値	比較	算数	本校	目標値	比較
2年	75.4	78.0	≒	2年	76.4	79.3	≒
3年	79.4	74.6	↑	3年	72.0	72.0	≒
4年	65.1	68.8	≒	4年	64.0	67.2	≒
5年	77.9	68.8	↑	5年	74.3	63.9	↑

※「≒」は「ほぼ同じ」を表す。

今年度の標準学力調査結果を参考にすると、本校の学力は、目標値と比較すると5ポイント以内にあります。しかし、決して高いとはいえません。観点別に見てみると、国語では、「話す・聞く」、算数では「数量関係・図形」などに課題が見られます。このような傾向は、過去の学力調査などの結果からみても同じようなことがいえます。そのため、本年度の研究テーマを「よく聞き、自ら考え、伝え合う子どもをめざして」とし、主に国語科で研究授業などに取り組みんでいます。また、日々の授業改善に生かすべく、佐賀小スタンダード2013を作成し、授業改善に努めています。

佐賀小スタンダード2013

- 授業スタンダード
- 佐賀つ子学習10の約束
- 発表と聞き方のルール
- ペア対話のルール
- 聞き方ピラミッド
- 算数板書計画・ノートの書き方

これらが、授業改善に関わるものとして本校のスタンダードに位置づけ、日々の実践

に役立てています。

◆教育活動②「豊かな心を育む」

本校は、「互いに認め合いかかわりあえる仲間づくり」をめざして、人権教育を基盤として教育活動を行なってきました。「子どもの居場所調べ」では休み時間に一人ぼっちの子どもはいないか。人を傷つける言葉や落書きがないように「ことばに対する宣言」。部落問題学習では、地域・保護者の方々にご協力をいただきながら、歴史学習はもとより、子どもたちの生活に生き、活動できることをめざした学習に取り組みんでいます。

また、日々の活動としては、「あいさつの木」があります。これは、「あいさつがよくできる人は「あいさつ親善大使」として、写真が掲載されるようになっています。今までの「ありがたうの木」とともに、120人全員の名前、写真が掲載されるように主に児童会が中心となって取り組みを進めています。一人ひとりを大切にすること子どもたちの行動レベルで評価したいと思います。

◆教育活動③「防災教育」

「自分の命は自分で守ることのできる児童の育成」を目標とし、防災教育を進めています。保・小・中合同避難訓練や地域の方による講演会、大学教授を招いての授業研究など、取り組みを進めているところですが、今年度は防災キャラクターや、避難訓練時の合言葉を学校独自で作成し、子どもたちが意欲的に防災教育に取り組めるように工夫しています。

来月1月28日には、研究発表会を開催する予定となっています。その日を目指して頑張っています。



避難訓練時の合言葉

お おさない
と とまらない
し しゃべらない
だ たよらない
ま またない